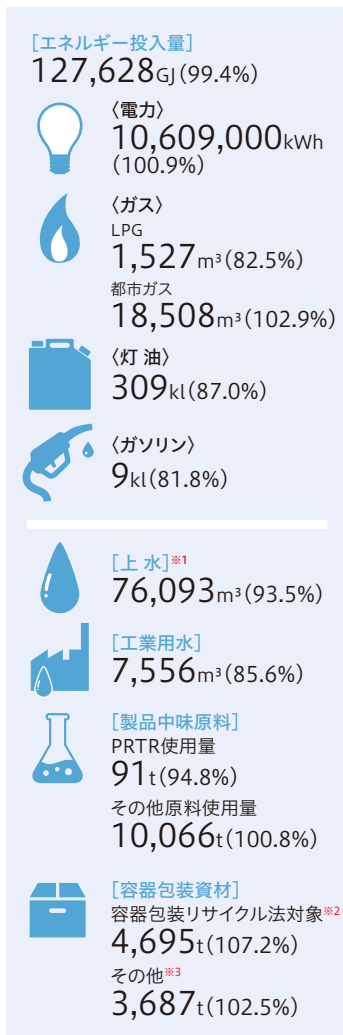
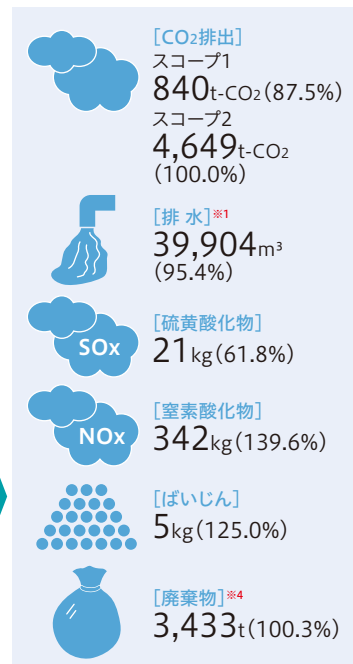


国内マダムグループの環境負荷の全体像(2017年度実績と前年度比)

【工場、オフィス・研究所】



【工場、オフィス・研究所】



産業廃棄物再資源化率99.4%(98.8%)

● 福崎工場	100.0%(99.8%)
● 本社・研究所	100.0%(83.7%)
● 国内拠点	100.0%(55.4%)
● その他	97.9%

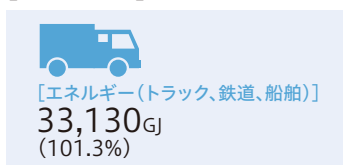
注:その他は、返品商品および販促物産業廃棄物処理によるもの
()は事務系一般廃棄物を含んだ場合の再資源化率

福崎工場・物流での産業廃棄物リサイクルの現状

● マテリアルリサイクル	2,201t(95.0%)
● ケミカルリサイクル	0t
● サーマルリサイクル	1,087t(109.2%)
● 埋め立て量	0t(0.0%)

(備考)外注加工品は含まず

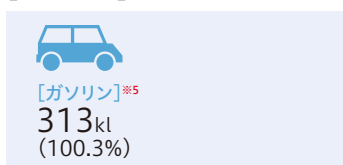
【物流・輸送】



【物流・輸送(スコープ3・カテゴリ4)】



【営業活動】



【営業活動(スコープ1)】



※1 上水使用量および排水量は、営業拠点を除く(データ入手困難)

※2 ガラス製、紙製、プラスチック製容器など

※3 容器包装資材には流通資材は含まず(データ算出困難)

※4 廃棄物には返品商品(大気放散含む)や販促物を含む

※5 フィールドスタッフ等の推計値を含む

【お客さま】

